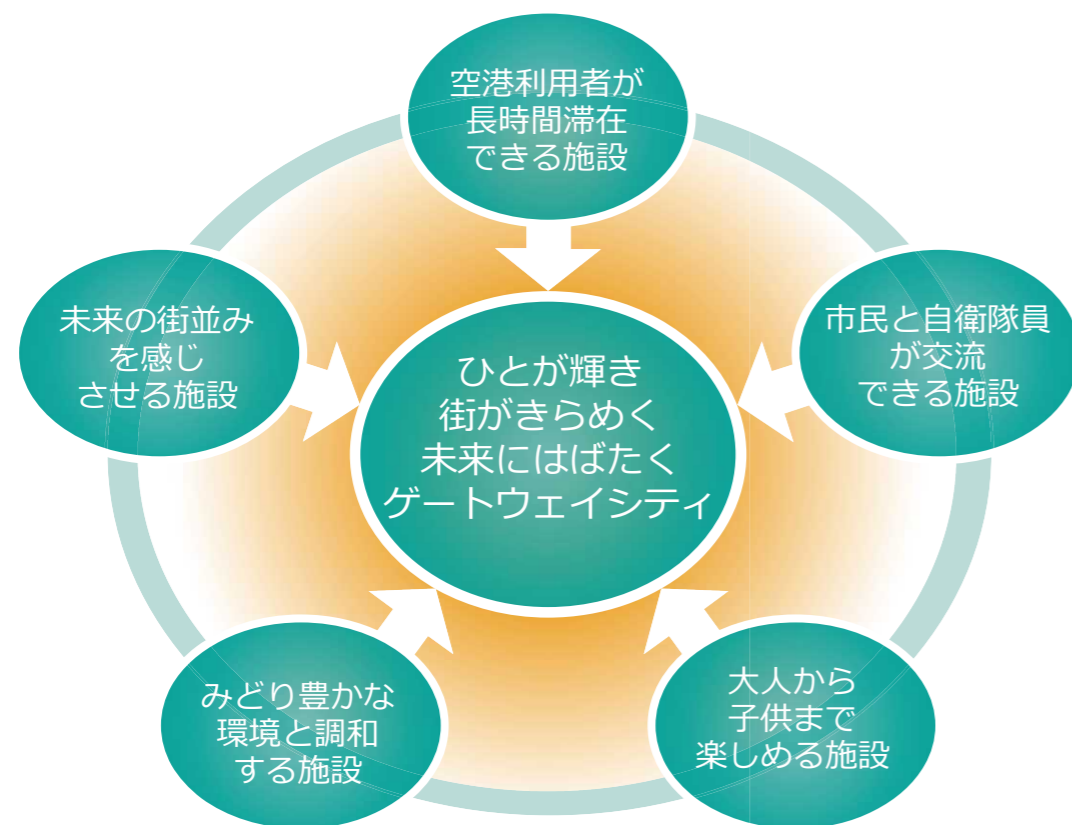


基本理念

上位計画・関連計画および3つのエリアの位置づけと、ワークショップや策定委員会の意見を踏まえて、基本理念を次のとおりとします。



基本目標

●空の交流エリア

茨城空港ターミナルビルとテクノパークがあるこのエリアは、あらたな交流拠点の形成によって、交流人口の拡大と情報発信力を高め、空港利用と産業立地の促進による地域振興を図ります。

また、周辺の自然環境を保全しつつ、多くの人々が利用できる公園整備を推進します。

●ゲートウェイエリア

空のえき「そ・ら・ら」があるこのエリアは、「そ・ら・ら」の機能拡張による利便性向上によって、人の吸引力をいっそう高め、通過型の街から滞在型の街への移行を目指すと共に、北関東の空の玄関口にふさわしい魅力的で快適な街並みづくりを行います。

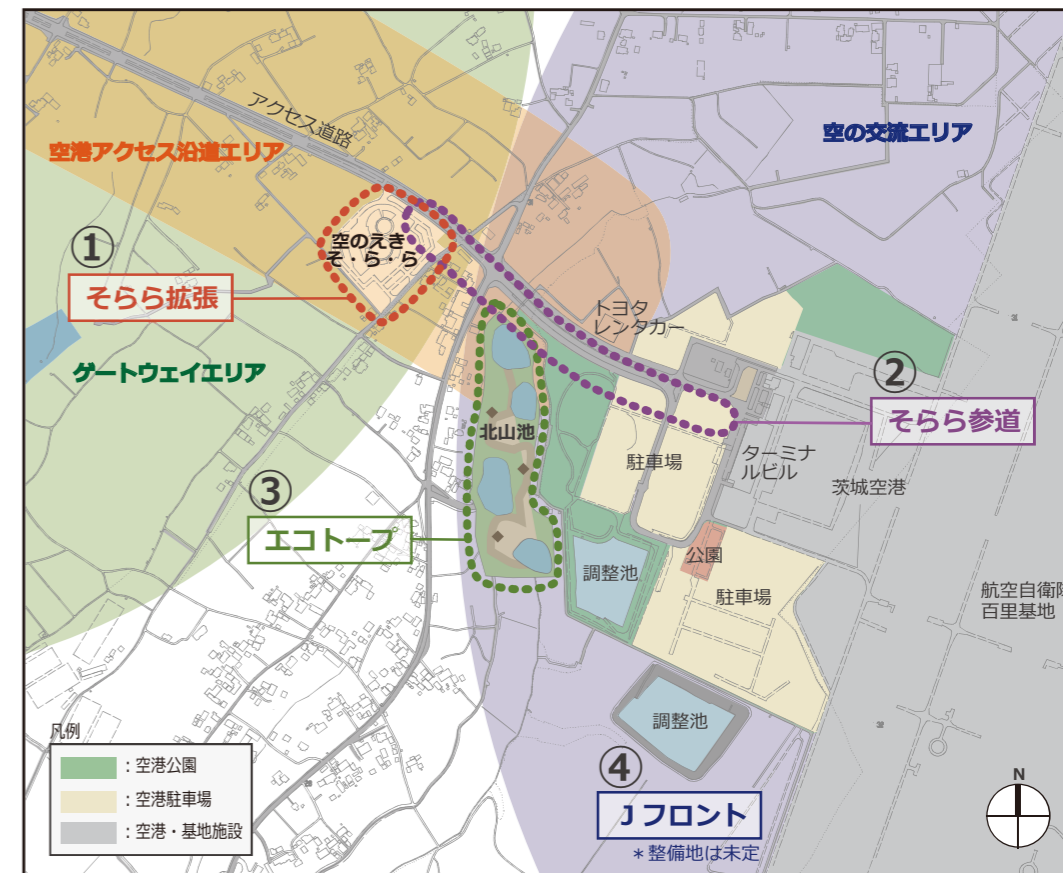
●空港アクセス沿道エリア

現況が、農地や林野地が大半を占めているアクセス道路の沿道エリアは、農地のもつ緑地としての機能や、農業・酪農体験の場としての機能等を再評価した上で、施設を集团的に整備するゾーンや沿道農地として活用するゾーンなど、それぞれが調和した土地利用を実現することで、均衡ある地域振興を図ります。

4つの構想

各エリアのなかでも中核的な場所であり、エリア間の連携に最適なゾーンを、整備候補地として選定し、今後取り組んでいくべき4つの構想を検討しました。

- ①「そらら拡張」
- ②「そらら参道」
- ③「エコトープ」
- ④「Jフロント」



完成イメージ